

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 神学研究科 |
| 大項目 | 7 国際交流 |
| 中項目 | |
| 小項目 | 7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。 |
| 要素 | (KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性 |
| 小項目 | 7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。 |
| 要素 | (KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院） |

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|---|---|------|
| 1. 学部・研究科における国際交流方針を策定（設定）する。 | →国際交流方針の明示（2013年度までに）。 | C |
| 2. 策定（設定）した国際交流方針に基づいて、新たな国外協定大学を開拓し、既存の協定大学との新たな展開を図る。 | →新規および新たな展開を図った協定大学数（2013年度までに2大学を目指す）。 | C |
| 3. 全学的な学生交換制度や外国大学プログラムの利用促進を図る。 | →留学生派遣および受け入れ人数。外国大学プログラムへの参加学生数。 | C |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
| | → | ☆ |
| | → | ☆ |

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

| | |
|------------|---|
| ☆ 小項目7.0.1 | (方針) [明文化に至っていない] (現状説明) 現段階において方針は明文化されていない。2013年度までに整備・明示の予定である。 |
| ☆ 小項目7.0.2 | (現状説明) 現行、学術文化交流（学部および教員レベル）を意図して、ベルン大学神学部（スイス）および監理教神学大学校（韓国）と学部間（あるいは学部－大学院間）協定を締結している。今後、その内容を充実するとともに、大学院学生レベルの交流に展開を図ることが目下の課題となっている。交換留学については大学全体の制度を利用するが、総数は少ないものの2007年度は1名の派遣であった（ドイツ・アウグスブルク大学）。また、2009年度は1名が派遣され、現地で専門科目における単位を取得した（韓国・延世大学）。 |
| ☆ その他 | 国内の教育・研究交流においては、財団法人日本クリスチャン・アカデミー主催の「神学生交流プログラム」に2009年度は大学院生1名、2010年度は大学院生と学部生の各1名を派遣している。このプログラムは、国内の他大学神学部・神学研究科、教派立神学校からの参加者約15名が大学教員、牧師、司祭などの指導の下、講義やフィールドワークを通じて研鑽と交流を図るものである。 |

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

| 【神学研究科】 | | | 単位 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 備考 | |
|-----------------------|-------------------------|--------------|----|------|------|------|------|------|-----|-------------------|
| 指標1 | 国際交流協定締結機関数 | | 機関 | — | — | — | — | — | | |
| 指標2 | 国際交流協定締結国数 | | 国 | — | — | — | — | — | | |
| 指標3 | 海外からの学生の受け入れ | 国 数 | 国 | — | — | — | — | — | | |
| | | 外国人留学生 | 正規 | 人 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | |
| | | | 交換 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 外国人留学生在籍学生比率 | 正規 | % | 2.3 | 7.5 | 8.6 | 10.3 | 7.1 | 外国人留学生(正規)÷在籍学生数 |
| | | | 交換 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 外国人留学生(非正規)÷在籍学生数 |
| その他 (セミナー等による受け入れ) | 人 | — | — | — | — | — | | | | |
| 指標4 | 海外への学生の派遣 | 国 数 | 国 | — | — | — | — | — | | |
| | | 人 数 | 長期 | 人 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | | | 短期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 在籍学生比率 | 長期 | % | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 3.5 | 海外へ派遣した学生数÷在籍学生数 |
| | | | 短期 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 指標5 | 人的国際学術研究交流 (受け入れ教員数) | 長期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 短期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 指標6 | 人的国際学術研究交流 (派遣教員数) | 長期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 短期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 指標7 | 国連ボランティア(UNV)の参加者数 | | 人 | — | — | — | — | — | | |

注) 正規、交換について

正規とは学位取得目的(大学院生は特別学生を含む)。交換とは正規以外で大学院短期留学を含む

注) 長期、短期について

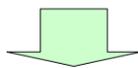
指標4: 1学期以上を「長期」とし、1学期未満を「短期」とする。

指標5・6: 1年間以上を「長期」とし、1年間未満を「短期」とする。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

| | |
|-------------|--|
| 小項目 7.0.1 | |
| ☆ 小項目 7.0.2 | |
| その他 | |



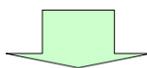
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

| | |
|-------------|--|
| 小項目 7.0.1 | |
| ☆ 小項目 7.0.2 | |
| その他 | |

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

| | |
|-------------|--|
| 小項目 7.0.1 | |
| ☆ 小項目 7.0.2 | 交換留学先で取得した専門科目の単位を本学の単位として認定すべく整った制度を導入するなど、留学を積極的に促す施策も必要である。 |
| その他 | |



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

| | |
|-------------|------------------------------|
| 小項目 7.0.1 | |
| ☆ 小項目 7.0.2 | 外国大学院における単位を認定する仕組みの検討および実施。 |
| その他 | |

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○院生の交換留学や「神学生交流プログラム」への参加は高く評価できます。

【学内委員】

○海外への派遣学生はあまりにも少ない。方針を策定し明示されることにより国際交流が促進されることを期待します。
○目標の実現には向かっていますが、予定通りに達成されることを期待します。
○伸ばさせるための事項、改善方法の記述において「検討する」「実施する」などでは曖昧です。より具体的なものが望まれます。検討するについても、どこで、どこまで検討するのかなどの記述が必要でしょう。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 小項目7.0.2の改善方策にある「外国大学院における単位を認定する仕組み」について、修了必要単位の範囲外ではあるが、認定のための新規科目を設置することを研究科委員会(2010年5月)において決定し、学則および内規の改正手続きが進んでいるところである。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

| | |
|----------|------------------|
| 7.0.0.S1 | 協定校と相互交流数(学生・教員) |
| 7.0.0.S2 | 国別国際交流協定締結先機関数 |
| 7.0.0.S3 | 人的国際学術交流数 |

<個別的な指標>

| | |
|--|--|
| | |
| | |